

# 第1回

## 🌸 「子どもと親のSOSをキャッチする仕組みを考える」

### シンポジウム🌸

2020年7月16日、京都市内で、総合支援学校高等部2年生の少年が母親の手により命を奪われるという事件が起こりました。新聞やネットの情報でこの事件を知った、障害児を育てる保護者の間にも、障害児支援にかかわる仕事をしている人々にも、大きな衝撃を与えました。事件から日がたつにつれ、人々の脳裏から事件の記憶が薄れていくことに危惧を感じています。この事件を他人事ではなく、我がこととして重く受け止めた人たちが集まり、このシンポジウムを企画しました。

企画の趣旨は、①障害児を育てる家庭の困難さをもっとたくさんの方に知ってもらいたい。②長い年月をかけて、保護者が困難を切り開いてきた歴史も共有したい③障害児や家族を支援する仕組みも紹介したい。そして、一人で悩んでいたり、困難に心折れそうになっている保護者の皆さんと一緒に、どうすればよいかを考え合いたいと思っています。保護者の皆さんだけでなく、障害児者支援にかかわる皆さんのご参加もお待ちしています。

## 2021年2月17日(水)10時から12時までオンラインで開催

【10:00~10:10】

企画趣旨とシンポジストの紹介(田中智子さん 佛教大学)

【10:10~10:20】

障害児を育てるといことは

竹口家の場合(映像または写真 伝えたいこと 竹口さん)

【10:20~10:30】

佐々木家の場合(映像または写真 伝えたいこと 佐々木さん)

【10:30~10:45】

行政に風穴を開けてきたこと(大西さん)

【10:45~11:00】

障害児と家庭を支える仕組みは?(沖田さん)

【11:00~11:15】

障害児の子育てに役立つワンポイントアドバイス(板野さん)

【11:15~11:45】

参加者と意見交換、質疑応答

【11:45~12:00】

まとめ・再び事件が起こらないために考えたいこと(田中智子さん)

# 第1回



## 「子どもと親のSOSをキャッチする仕組みを考える」

### シンポジウム

- ・参加費は無料です。
- ・申込期限は 2月8日(月) です。2月10日頃に招待メールを送ります。  
届かない場合は、松岡 080-3796-3121 にご連絡ください。

#### お申込み

- ・お申込みアドレス **sos.catch@gmail.com**
- ・ FAX 申込み先: 075-465-4151 (福祉広場)

お名前(ペンネーム可)  
当日参加の E-mail:  
聞いてみたいこと:

所属

- ・下記の QR コードをご利用いただくと、自動的にお申込みができます。



- ・ZOOM 接続について：  
当日は9時45分から接続可能です。  
10時から開始しますので、少し余裕をもってご参加いただけますと幸いです。
- ・ご参加の皆さまは、主催者よりミュートとさせていただきます。
- ・発言や映像を録音、録画したりスクリーンショットを保存したりしないでください。
- ・ご参加の皆さまの画面共有は任意といたします。
- ・ご質問は当日もチャットでお受けいたします。  
時間の許す範囲で頂戴しました質問にお応えできるよう努めます。